

令和7年度
事業報告

令和7年度事業報告

1 事業の状況

(1) 公益目的事業1

植村直己の業績についての展示公開に関する事業（定款第4条第1号関係事業）

広く一般に冒険家植村直己の偉大な業績を公開することにより、植村直己の人間性や冒険の歴史などを継承するとともに、自然への関心を高め、人間性豊かな地域社会の形成に寄与することを目的とし、展示公開事業を中心として植村冒険館を運営した。

事業計画に基づき計画どおりに企画展示を実施することができ、展示内容についても未発表の写真を新たに公開するなど充実を図ることで、3階展示室の来館者数は、昨年度を739人上回り、11,890人となった。昨年度に引き続き1万人を超える多くの来館者に植村直己の偉業を知ってもらうことができ、当法人の公益目的に資する事業として安定的な成果を得ることができた。

【植村冒険館の管理運営】

① 植村冒険館の運営及び施設管理

所在地：東京都板橋区加賀1丁目10番5号植村記念加賀スポーツセンター内

1階／ウエムラチャレンジベース（企画展示・図書コーナー） 67.0㎡

3階／常設展示・企画展示

開館時間：10時～18時（月曜・年末年始休館）

※月曜日が祝日の場合は開館し、翌平日休館

来館者数：48,316人

（3階展示室11,890人・1階チャレンジベース36,426人）

② 情報（図書）コーナー資料収集整備

1階チャレンジベース、3階どんぐり文庫にて図書の閲覧・貸出しを行う。

開架資料数（令和7年度末）

・「チャレンジベース」2,202冊

・「どんぐり文庫」4,091冊（うち雑誌1,703冊）

・定期刊行物（新刊雑誌）4種

・山岳団体会報・報告書等 23団体 172部

③ 広報と情報の発信

事業内容や参加者募集の周知、施設情報をホームページに公開した。また、機関誌を発行した。

・「アドベンチャー・フォーラム」第47号の発行（3,000部）

④ その他の事業

ア 関連団体への加盟

日本山岳会、東京都博物館協議会

イ 植村冒険館友の会

会員数 令和7年度末191人（前年度193人）

ウ 取材等への協力

取材協力（施設紹介）：「東京 GOOD! TREASURE MAP」ほか2件
 情報提供（掲載許諾対応）：大和書房「雪のアンソロジー」1件
 植村直己関連情報の提供：週刊現代「熱談！プレイバック」ほか6件

【資料収集・保存及び調査・研究】

① 遺品等の収集及び保存

- ア 収集資料累計：1,876点（設立時 1,604点）
 イ 収集資料：2点[植村直己氏がカシハラ氏（ペルー在住）に宛てたハガキ／河野善四郎氏提供、北極点単独到達記念サイン入り時計付写真パネル／高橋玲王奈氏提供]

② 所蔵遺品の点検

- ア 植村直己関係者から寄贈された資料（写真）の詳細調査
 イ 企画展示のための個別点検

③ 植村直己氏の業績及び植村直己氏の冒険に関与した人物の調査

マスコミ、来館者からの問い合わせに対する調査と情報提供

【展示事業】

植村冒険館：通年開館（307日）
 入館者数：11,890人（38.7人／日）

① 植村冒険館企画展

回数	タイトル 内 容	期 間	入室者数
継続 開催	メモリアル展 山頂に残された旗 ～マッキンリーに消えた植村直己の足跡～ 前年度の2月から、植村直己の最後の冒険となつた厳冬期マッキンリー（デナリ）単独登頂の様子を写真と当時の装備などを中心に紹介した。	4月1日～6月1日 （54日間） *令和7年2月4日から継続展示	1,969 人 36.5 人／日
1	植村直己が撮影した単独冒険の記録写真 セルフタイマーギャラリー 植村直己が単独での行動にこだわったマッキンリー登頂、北極点単独行・グリーンランド縦断を中心に、セルフタイマー撮影した写真を紹介した。	6月3日～10月5日 （108 日間）	3,849 人 35.6 人／日
2	新資料でたどる植村直己 外国放浪の旅 ＜アメリカーフランス編＞ 植村直己が大学卒業とともに日本に飛び出し外国を旅した様子を紹介。アメリカに行きフランスに渡るまでを、未発表の写真を盛り込み発表した。	10月7日～2月1日 （96日間）	4,056 人 42.3 人／日
3	メモリアル展 山頂に残された旗 ～マッキンリーに消えた植村直己の足跡～ 植村直己の最後の冒険となつたマッキンリー（デナリ）単独登頂の様子を、写真と当時の装備などを中心に紹介した。	2月3日～3月31日 （49日間） *令和8年5月31日まで継続展示	2,016 人 41.1 人／日

② その他の展示等

ア 板橋区施設での継続展示

板橋区立ハヶ岳荘「植村直己展示室」(通年)

※令和7年度は入口に誘導サインを追加し、展示室内の一部をリニューアルした。

板橋区立赤塚体育館(通年)

イ 学校展示／高島第一中学校

「冒険家・植村直己の足跡」

期 間：令和8年1月16日・17日(学習発表会)

生徒数：270人

ウ 出張展示／赤塚支所1階ギャラリー

「冒険家・植村直己 世界を駆ける」

期 間：令和8年2月20日～3月19日

エ 小学生向け自由研究「地球たんけんパスポート」配布

期 間：令和7年7月2日～8月31日(53日間)

参加者数：272人

オ 「さらなる探検チャンス」の実施

「地球たんけんパスポート」達成者に、来館時にクイズに答えるとオリジナルグッズがもらえる「さらなる探検チャンス」参加はがきを配布し、来館した小学生に記念品を贈呈した。

期 間：令和7年10月7日～12月28日

対象者数：226人／景品引き替え：124人

カ 北極講演会「50年前のシオラパーク 幻の写真をひもとく」

期 日：令和7年12月14日(植村記念加賀スポーツセンター武道場)

講 師：北海道立北方民族博物館 日下 稜

参加者数：56名

キ 7つの板橋駅+1スタンプラリーエリア拡大完結版

鉄道3社局と区の合同企画のスタンプラリーのチェックポイントとして協力

期 日：令和7年10月1日～11月3日(3階展示室)

【公益目的事業1の決算状況】

(単位：円)

事業項目		予算額	決算額
植村直己の業績についての展示公開に関する事業		36,636,000	30,760,255
内 訳	(1)冒険館の管理運営	26,248,000	23,654,947
	(2)資料収集・保存及び調査研究	1,959,000	2,029,340
	(3)展示公開	8,429,000	5,075,968

(2) 公益目的事業2

自然への関心を高めるための実体験事業（定款第4条第2号関係事業）

植村直己の精神（ウエムラスピリット）に基づき、冒険的な実体験事業を実施することで、困難を克服するチャレンジ精神や自然を大切にする豊かな心を醸成した。

人気がある事業を継続する一方で、事業の組み換えを行うことで、よりわかりやすい事業体系とした。荒天により中止となったものもあったが、多くの事業で定員を上回る応募があり高い関心を集めている。事業計画に基づき、安全に事故なく事業を実施することができ、当法人の公益目的に資する事業として安定的な成果を得ることができた。

① 自然塾の実施

小学4年生から高校3年生を対象に、自然の中での活動から「ウエムラ・スピリット」に通じる強く生きるための力や人間らしい生き方を学ぶプログラムを実施した。

- ・実施回数 11回（単発7回・継続4回） ※中止回数1回
- ・参加者延べ 203人

【単発プログラム】

回数	プログラム名 実施場所及び内容	実施月日 及び期間	参加者数
1	潮干狩りでサバイバルキャンプ ～自然界から食材調達！～ 富津公園キャンプ場（千葉県君津市） テント泊自炊の1泊2日。初日に潮干狩りをし、採れたアサリやハマグリを使って、創作料理に挑戦する予定だったが、荒天のため中止とした。	【中止】 5月17日～18日 【1泊2日】	—
2	カヤックツーリングに挑戦！ ～川へ漕ぎ出そう～ 江戸川（埼玉県三郷市） 流れの緩やかなエリアで苦戦しながら操船方法を学んだあと、一人乗りと二人乗りカヤックを交換しながら楽しく川を下っていった。後半は、より流れの早い場所で操船にチャレンジした。	6月29日 【日帰り】	17人
3	夏の冒険トレックキャンプ ～温泉の山小屋に泊まって東京都最高峰を目指そう！～ 三条の湯（山梨県丹波山村）・雲取山（東京都奥多摩町） 1日目は三日間の生活に必要な食材や備品を分け持って三条の湯へ向かった。山小屋をベースに2日目は東京都最高峰である雲取山を目指した。天候が崩れてきたが参加者の半数は山頂を踏むことできた。	7月22日～24日 【2泊3日】	24人

回数	プログラム名	実施月日 及び期間	参加者数
	実施場所及び内容		
4	伊豆大島まるごとキャンプ ～海と大地の大自然を体感しよう～	8月17日～19日 【2泊3日】	29人
	伊豆大島（東京都大島町） 夜に集合し船で大島へ。朝に大島到着後、シュノーケリングを1日楽しんだ。民泊泊で自炊にもチャレンジした。3日目に三原山ハイキングに挑戦した。		
5	海釣りチャレンジ ～釣ってさばいてサバイバル！？～	11月2日～3日 【1泊2日】	15人
	金沢八景（神奈川県横浜市）・黒川青少年野外活動センター（神奈川県川崎市） 釣り竿のセッティングから使い方まで基本を学んだあと、夜まで時間たっぷり釣りに挑戦した。2日目は、釣れた魚を自分たちで調理し味わった。		
6	スキーに挑戦！ ～雪の上を爽快地に滑ろう！！～	1月23日～25日 【2泊3日】	32人
	ハケ岳荘・富士見高原スキー場（長野県富士見町） スキー板の付け方やリフトの乗り方を学んだ。初めての人 は転んだりしながらも、実際に滑ることで、スキーの楽し さや雪山の壮大さを感じた。		
7	オーバーナイトウォーキング ～仲間とともに自分の限界に挑戦！～	3月7日～8日 【0泊2日】	44人
	集合場所→荒川周辺→植村冒険館 小学生 30km、中高生 50km という道のりをグループの仲間 と応援しあいながら、眠気や寒さに耐え歩き抜き、達成感 や自信を得ることができた		
8	ワイルド山ごもりキャンプ！ ～森のなかでとことん焚火と野宿に挑戦！～	3月26日～27日 【1泊2日】	18人
	丹沢クアハウス山小屋（神奈川県伊勢原市） 焚火を集め、火を起こし、シートで屋根をつくり野宿を体 験した。不便さの中で創意工夫し協力しあいながら、冒険 に必要な知識とスキルを身に着けた。		

【継続プログラム】 小学4～6年生対象 全4回 ステップアップアドベンチャー

回数	プログラム名 実施場所及び内容	実施月日 及び期間	参加者数
1	①セルフレスキューチャレンジ ～セルフレスキュー（応急手当）とキャンプスキル習得に挑戦！～ 光が丘公園（東京都練馬区） 全4回、一緒にチャレンジしていく仲間とともに『もしも』のときになにができるかシミュレーションをしながら、正しい処置の仕方を学んだ。	9月28日 【日帰り】	計24人
2	②レベルアップチャレンジ ～テント泊と屋台村アウトドアクッキングに挑戦！～ 黒川青少年野外活動センター（神奈川県川崎市） 食事のメニューを決め、限られた予算の中で買い出しを行い、オリジナルの食事を作って味わった。また、チームでチャレンジすることの楽しさを学んだ。	10月25日～26日 【1泊2日】	
3	③山にチャレンジ ～ピークハントハイキング～ 弘法山（神奈川県秦野市） ゴールの目標時間を設定し、地図とコンパスを頼りにタイムマネジメントをしながら登頂した。普段使うことがない道具を使うことで、それぞれの冒険を楽しんだ。	11月30日 【日帰り】	
4	④雪の世界にチャレンジ！ ～かまくらを作って泊まろう！～ 国立妙高青少年自然の家（新潟県妙高市） 全4回の集大成。かまくら作りなど、雪と戯れることで、非日常感を味わった。また、かまくらの中で寝ることで、冒険の厳しさや楽しさを学び、仲間との絆を育んだ。	1月5日～7日 【2泊3日】	

② アドベンチャー講座の実施

ア やさしい日帰り登山講座

初心者でもやさしく登れる低山を選定し、実践を通じて登山の基礎知識やマナーを習得するとともに、山頂では山飯の実食をするなど、都会では味わえない登山の楽しさや魅力が感じられる講座を実施した。

・実施回数 2回（中止回数1回） 参加者延べ36人

【実施プログラム】

	実施月日	実施内容	参加者数	講師
1	4月12日（土）	高尾山（東京都八王子市）	16人	山口 章 原 邦三
2	10月25日（土）	三頭山（東京都檜原村）	— 雨天中止	山口 章 原 邦三
3	12月6日（土）	筑波山（茨城県つくば市）	20人	山口 章 原 邦三

イ ステップ登山体験講座

初心者を対象に、登山に関する基礎知識を習得するための座学を実施した。

また、習得した知識や技術等を実践することを目的として実践講座を実施した。

- ・座学講座実施回数 4回 参加者延べ67人
- ・登山講座実施回数 3回（中止回数1回）参加者延べ36人

【実施プログラム（座学）】

	実施月日	実施内容	参加者数	講師
1	5月24日（土）	安全に楽しく山を登るために	18人	山口 章
2	7月12日（土）	山の地図とコンパスを読む	16人	山口 章
3	9月27日（土）	山の天気を読む	17人	山口 章
4	1月31日（土）	トラブルの対処と冬山の心がまえ	16人	山口 章

【実施プログラム（登山）】

	実施月日	実施内容	参加者数	講師
1	5月17日（土）	日和田山（埼玉県日高市）	－ 雨天中止	原 邦三 谷山 宏典
2	9月6日（土）～ 9月7日（日）	湯ノ丸山・黒斑山 （宿泊：長野県小諸市）	12人	谷山 宏典
3	11月15日（土）	金時山（神奈川県箱根町）	11人	谷山 宏典 原 邦三
4	2月21日（土）	幕山（神奈川県湯河原町）	13人	山口 章

ウ 家族キャンプ&登山

自然体験を通して家族の絆と自然を大切にする心や冒険心を醸成することを目的とし、家族で参加できるキャンプ講座を実施した。入門編では、キャンプの基礎知識が学べる内容を中心とし、冒険トレック編ではキャンプと組み合わせ軽登山を実施した。

- ・実施回数2回 参加者数延べ13組34人

【実施プログラム】

	実施月日	実施内容	参加者数
1	5月10日（土）～ 5月11日（日）	ファミリーキャンプ春 入門編 （山梨県北杜市国際自然大学校日野春校）	6組16人 大人8人 子供8人
2	9月20日（土）～ 9月21日（日）	ファミリーキャンプ秋 冒険トレック編 （静岡県御殿場市国立中央青年交流の家）	7組18人 大人8人 子供10人

【公益目的事業2の決算状況】

(単位：円)

事業項目		予算額	決算額
自然の中での実体験事業		13,408,000	11,714,365
内	(1)自然塾	10,294,000	10,393,489
訳	(2)アドベンチャー講座	3,114,000	1,320,876

(3) 収益事業等（その他の事業1）

その他、目的を達成するために必要な事業（定款第4条第3号関係事業）

植村直己の魅力を広く発信するとともに、公益目的事業の安定的な運営に資するため、植村冒険館に関連するグッズの販売を行った。既存商品の継続販売に加え、新たに革製キーホルダーや植村直己のイラストをプリントしたポーチ等の新商品を販売することで、販売点数及び販売額のいずれも前年度を上回った。

本収益事業により得られた収益は、公益目的事業の実施および法人運営の基盤強化に活用しており、公益目的の達成を支える事業として一定の成果を得ることができた。

① 関連物品販売事業

植村直己著書及び関連図書・DVD・Tシャツやキーホルダーなどのオリジナルグッズなどを来館の記念として販売。

グッズ等販売収入合計 1,407点（27種）1,445,690円
 （内訳）図 書 192点 260,721円
 DVD 36点 123,280円
 物 品 1,179点 1,061,689円

【収益事業等の決算状況】

(単位：円)

事業項目	予算額	決算額
関連物品販売事業	2,452,000	1,865,482

2 処務の概要

(1) 役員等に関する事項

(令和8年3月31日現在)

役職名	氏 名	任 期	常勤・非常勤	本法人以外の現職	本法人役員 就任年月日
理事長	坂 本 健	令和6年6月26日～ 令和8年度定時評議員会	非常勤	板橋区長	平成19年6月27日
常務理事	菅 野 祐 二	令和6年6月26日～ 令和8年度定時評議員会	非常勤	(兼務)植村記念財団 事務局長	令和5年3月10日
理 事	尾 科 善 彦	令和6年6月19日～ 令和8年度定時評議員会	非常勤	板橋区副区長	令和5年8月18日
理 事	田 中 一 誉	令和6年6月19日～ 令和8年度定時評議員会	非常勤	板橋区スポーツ振興 課長	令和5年6月15日
理 事	節 田 重 節	令和6年6月19日～ 令和8年度定時評議員会	非常勤	NPO 法人日本ロング トレイル協会会長	平成14年6月28日
理 事	高 橋 通 子	令和6年6月19日～ 令和8年度定時評議員会	非常勤	(株)ル・ベルソー 代表取締役	平成4年3月25日
理 事	中 村 滋	令和6年6月19日～ 令和8年度定時評議員会	非常勤	元(株)小学館 専務取締役	平成4年3月25日
理 事	湯 川 豊	令和6年6月19日～ 令和8年度定時評議員会	非常勤	日本文藝家協会 常務理事	平成4年3月25日
理 事	渡 邊 興 亞	令和6年6月19日～ 令和8年度定時評議員会	非常勤	国立極地研究所 名誉教授	平成14年6月28日
理 事	山 岸 久 雄	令和6年6月19日～ 令和8年度定時評議員会	非常勤	国立極地研究所 名誉教授	平成30年6月21日
監 事	倉 林 正 憲	令和4年6月17日～ 令和8年度定時評議員会	非常勤	税理士・公認会計士	令和4年6月17日
監 事	岡 本 誠 司	令和6年3月6日～ 令和8年度定時評議員会	非常勤	住友生命保険相互会 社 顧問	令和6年3月6日

(令和8年3月31日現在)

役職名	氏 名	任 期	本法人以外の現職	本法人役員 就任年月日
評議員	田 中 俊 介	令和7年6月19日～ 令和10年度定時評議員会	板橋区議会議長	令和7年6月19日
評議員	田 中 功 夫	令和7年6月19日～ 令和10年度定時評議員会	板橋区議会副議長	令和7年6月19日
評議員	平 岩 俊 二	令和6年6月19日～ 令和10年度定時評議員会	板橋区区民文化部長	令和6年6月19日
評議員	大 谷 映 芳	令和6年6月19日～ 令和10年度定時評議員会	NPO法人アースワークスソサエ ティ代表	平成14年6月28日
評議員	吉 田 輝 男	令和6年6月19日～ 令和10年度定時評議員会	(公財)板橋区体育協会 副会長	令和2年6月16日
評議員	貫 田 宗 男	令和6年6月19日～ 令和10年度定時評議員会	(株)ウェック・トレック 顧問	平成28年6月15日
評議員	五 味 洋	令和7年6月19日～ 令和10年度定時評議員会	植村冒険館友の会会長	令和7年6月19日
評議員	廣 江 研	令和6年6月19日～ 令和10年度定時評議員会	(福)こうほうえん会長	平成4年3月25日
評議員	竹 澤 喜 孝	令和6年6月19日～ 令和10年度定時評議員会	板橋区町会連合会 板橋支部長	令和6年3月6日
評議員	飯 田 年 穂	令和6年6月19日～ 令和10年度定時評議員会	明治大学名誉教授	令和2年6月16日

(令和8年3月31日現在)

役職名	氏 名	任 期	常勤・非常勤	本法人以外の現職	本法人役員 就任年月日
特別顧問	植村 公 子	平成24年4月1日～	非常勤	植村 直己氏夫人	平成4年3月25日

<退任役員等>

令和7年度の退任役員等は次のとおり。

役職名	氏 名	任 期	本法人以外の現職	本法人役員 退任年月日
評議員	田 中 康 智	令和6年6月19日～ 令和10年度定時評議員会	前板橋区議会議長	令和7年6月19日
評議員	柴 佳 代 子	令和6年6月19日～ 令和10年度定時評議員会	前板橋区議会副議長	令和7年6月19日
評議員	林 雄 平	令和6年6月19日～ 令和10年度定時評議員会	前植村冒険館友の会会長	令和7年6月19日

(2) 役員報酬に関する事項

当法人の役員報酬等については、公益法人認定法及び関連規定に基づき、評議員会において定めた。「公益財団法人植村記念財団の役員及び評議員の報酬等及び費用に関する規程」に基づき支給している。

当年度の支給額は以下のとおりである。

理 事（5名）：総額 70,000 円

評議員（10名）：総額 140,000 円

監 事（2名）：総額 60,000 円

(3) 外部理事及び外部監事に関する事項

当法人において、外部理事及び外部監事については未選任であるが、令和8年度中の選任に向けて体制整備を進めている。

(4) 職員に関する事項（パートタイム職員を除く）

(令和8年3月31日現在)

役職名	氏 名	就任年月日	担当事務	備 考
事務局長	菅 野 祐 二	令和5年4月1日	統括	非常勤
事務局次長	根 本 康 成	令和6年4月1日	事務統括	派遣（板橋区区民文化部スポーツ振興課特命担当係長）
事 務	木 村 友 香	令和5年4月1日	一般事務	派遣（板橋区区民文化部スポーツ振興課）
事 務	大 塚 由 佳	平成30年10月1日	一般事務	常勤
学芸員	内 藤 智 子	平成4年4月1日	学芸事務	常勤

3 役員会等に関する事項

令和7年度の役員会では、付議事項が事業報告及び収支決算、事業計画及び収支予算、役員選任など利益相反が生じる可能性が非常に低い議案に限られたことから、事前に事務局において各議案に関連する利害関係の有無を整理した上で会議を開催した。審議に際し、利益相反に該当する事案は認められず、全議案について適正に議決が行われた。

(1) 理事会

開催月日	議事事項	結果
令和7年5月15日 ＜出席者＞ 理事 6名 監事 1名	①「令和6年度事業報告」の件 ②「令和6年度収支決算」の件 ③「上映機器保守点検等準備金の取崩し」の件 ④「令和7年度定時評議員会招集」の件	承認 承認 可決 可決
令和8年2月25日 ＜出席者＞ 理事 9名 監事 2名	⑤「令和8年度事業計画及び収支予算」の件 ⑥「令和8年度設備投資及び資金調達」の件 ⑦「評議員会の招集」の件	可決 可決 可決

(2) 評議員会

開催月日	議事事項	結果
令和7年6月19日 ＜出席者＞ 評議員 8名 監事 1名 理事 3名	①「評議員の選任」の件 ②「令和6年度事業報告」の件 ③「令和6年度収支決算」の件	選任 承認 承認
令和8年3月12日 ＜出席者＞ 評議員 9名 理事 3名	④「令和8年度事業計画及び収支予算」の件 ⑤「令和8年度設備投資及び資金調達」の件	承認 承認

4 寄付金に関する事項

(1) 寄付金額 198,738円

寄付内訳

寄付の目的	寄付者	領収金額	備考
顕彰事業等への援助	寄付金箱 郵送等	198,738円 0円	

5 内部統制に関する事項

(1) 内部統制の基本方針

当法人は、展示公開事業及び自然体験事業を適正かつ円滑に実施するため、法令遵守、業務の効率化、財務報告の信頼性確保を目的として内部統制システムを整備している。処務規定、財務会計規則、資産運用管理規程、個人情報保護規程等を整備し、理事長の下で全般的に運用している。関係規程については、必要に応じて適宜改正している。

(2) コンプライアンスの維持

日常業務においては、事務局内で法令遵守を基本とし、疑義が生じた場合には理事長に報告・相談を行う体制を維持している。当法人の規模や業務実態に照らし、日常的なコミュニケーションと管理体制を重視し、引き続き適正な業務運営に努めている。

本年度において、関連当事者取引の確認、海外送金の有無およびテロ資金供与などをはじめ法令違反や不適切な事案は発生していない。

(3) 監事監査の実施等

監事は、令和8年4月23日に、会計帳簿、証憑書類、事業実施状況、理事会の運営状況等を確認した。監査の結果、法人運営および会計処理は適正に行われており、指摘すべき重大な事項はなかった。

また、令和7年9月5日に板橋区による財産援助団体等監査を受け、特に指摘すべき事項は認められなかった。この結果から、当法人の内部統制およびコンプライアンス体制が適切に機能していることを確認した。

(4) 制度改正への対応

令和7年4月施行の新公益法人制度において外部理事及び外部監事の選任が必要になることを踏まえ、選任に向け準備を進めており、令和8年度中の選任完了を予定している。

また、法令改正により事業報告書に運営体制の充実に関する記載が求められたことを踏まえ、必要な情報整備を行い、法人の活動内容・財務情報について透明性を確保した。